

1面のコラム「^{しゃめん}斜面」を読もう

斜面

2021.9.6

学校は何のためにあるのか。教育とは何か。子を持つ親の一人として胸が震える思いで読んだ。大阪市の小学校

長、久保敬さんが松井一郎市長に宛てた提言だ。学校現場を抑えつける教育行政のあり方に正面から疑問をぶつけている◆一つは、全国一斉の学力テストや市独自の学力経年調査だ。学校は毎年、点数を上げるよう求められる。それがどれほどむずかしいか。子どもたちが「学び」に向かうためにどのような支援をすればいいかは、毎日、一緒に学習していればわかる話である◆何のためなのかかわからない仕事に追われて疲弊していくのでなく、子どもたちに直接かわる仕事がしたいのだと久保さんは書く。数値では見えない子どもの反応を肌で感じたい。1点2点を追い求めるのではなく、子どもたちと今という時間を共に過ごしたいのだと◆コロナが再拡大した4月、小中学校をオンライン授業に切り替えると松井市長が唐突に打ち出したことが提言のきっかけだ。現場の意見を聞かずに決め、保護者や子どもたちに大きな負担がかかったと批判した久保さんを市教委は先月、文書訓告にしている◆方向性が合わないなら組織を去るべきだと松井市長は述べた。それでも久保さんはひるんでいない。おかしいと思うことには縮こまらずに声を上げる。それを教えるのが教育だと考えている。政治権力による介入や統制を阻むために現場の力を立て直さなければとあらためて思わされる。

斜面

2021.9.7

「調和の取れた不協和音」。東京パラリンピック閉会式のテーマは直訳すると少々難解に聞こえる。多様性を認め合う社会を作り上げようというメッセージだろう。ダンスパフォーマンスなど盛り上げて、とても華やかな式典だった◆国際パラリンピック委員会（IPC）のパ

ーソンズ会長が紹介した選手の手言葉が心に響いた。「障害のある人が受け入れられるために、並外れたことをしなくてもいいはず」。その通り。社会の理解を得るために障害者が頑張りすぎるなんて、おかしい◆「がんばらない」という書を思い出す。98年長野大会の際に催した「アートパラリンピック」で世に出た。知的障害のある人の創作の場で上田市の西沢美枝さんが描いた作品。本紙も閉会式を伝えた紙面で紹介した。困難に直面する人の心を和らげ、努力信奉の価値観も揺らした◆IPCもトップアスリートが競い合う大会を超えて、活動の幅を大きく広げようとしている。東京大会を機に世界の15%に当たる12億人の障害者に目を向け、差別的解消や生活の改善を訴えるという。障害者を隔てている壁を一人一人が壊す時が来た◆◆限界に挑む姿に感動した。それだけなら、他のスポーツと変わらない。障害者であること。あるいは性的少数者、少数民族、女性であること。故に立ちほだかる理不尽な多くの壁を直視せねば。撤去は、つくって省みもしない多数の側が負う責任だ。当事者は殊更にならばなくていい。

しゃめん
1面のコラム「斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2021. 9. 7

「ちょうわのとれ
たふきょうわおん」。
とうきょうパラリ
ンピックへいかい

しきのテーマはちよくやく
するとしょうしゅうなんか
いにきこえる。たようせい
をみとめあうしゃかいをつ
くりあげようというメッセー
ジだろ。ダンスパフォー
マンスなどでもりあげて、
とてもはなやかなしきてん
だった◆こくさいパラリン
ピックいいんかい（IPC）
のパーソンズかいちょうが
しょうかいしたせんしゅの
ことばがこころにひびいた。
「しょうがいのあるひとが
うけいられるために、な
みはずれたことをしなくて
もいいはず」。そのとおり。
しゃかいのりかいをえるた
めにしょうがいしゃががん
ばりすぎるなんて、おかし
い◆「がんばらない」とい
うしよをおもいだす。98ね
んながのたいかいのさいに
もよおした「アートパラリ
ンピック」でよにでた。ち
てきしょうがいのあるひと
のそうさくのばでうえだし
の西沢美枝さんがかいたさ
くひん。本紙もへいかいし

きをつたえたしめんでしょ
うかいした。こんなんにちよ
くめんするひとのこころを
やわらげ、どりよくしんぽ
うのかちかんもゆらした◆
IPCもトップアスリート
がきそいあうたいかいをこ
えて、かつどうのはばをお
おきくひろげようとしてい
る。とうきょうたいかいを
きにせかいの15%にあたる
12おくにんのしょうがいしゃ
にめをおけ、さべつのかい
しょうやせいかつのかいぜ
んをうったえるという。しょ
うがいしゃをへだてている
かべをひとりひとりがこわ
すときがきたと◆げんかい
にいどおすがたにかんどう
した。それだけなら、ほ
かのスポーツとかわらない。
しょうがいしゃであること。
あるいはせいてきしょうす
うしゃ、しょうすうみんぞ
く、じよせいであること。
ゆえにたちはだかるりふじ
んなおおくのかべをちよく
しせねば。てっきよは、つ
くってかえりみもしいた
すうのがわがおうせきにん
だ。とうじしゃはことさら
にがんばらなくていい。

コラム「^{しゃめん}斜面」を読んで考えを深めよう

解答例

年 組 名前

斜面

2021.9.6

学校は何のためにあるのか。教育とは何か。子を持つ親の一人として胸が震える思いで読んだ。大阪市の小学校

長、久保敬さんが松井一郎市長に宛てた提言だ。学校現場を抑えつける教育行政のあり方に正面から疑問をぶつけている◆一つは、全国一斉の学力テストや市独自の学力経年調査だ。学校は毎年、点数を上げるよう求められる。それがどれほどむずかしいか。子どもたちが「学び」に向かうためにどのような支援をすればいいかは、毎日、一緒に学習していればわかる話である◇何のためなのかかわらない仕事に追われて疲弊していくのでなく、子どもたちに直接かわる仕事がしたいのだ」と久保さんは書く。数値では見えない子どもの反応を肌で感じたい。1点2点を追い求めるのではなく、子どもたちと今という時間を共に過ごしたいのだ」と◆コロナが再拡大した4月、小中学校をオンライン授業に切り替えると松井市長が唐突に打ち出したことが提言のきっかけだ。現場の意見を聞かずに決め、保護者や子どもたちに大きな負担がかかったと批判した久保さんを市教委は先月、文書訓告にしている◆方向性が合わないなら組織を去るべきだと松井市長は述べた。それでも久保さんはひるんでいない。おかしいと思うことには縮こまらずに声を上げる。それを教えるのが教育だと考えている。政治権力による介入や統制を阻むために現場の力を立て直さなければとあらためて思わされる。

① 久保敬校長は提言で、子どもたちにどのような支援をすればいいかは、何をしていけばわかる話だとしていますか。

【解答】 毎日、一緒に学習していればわかる

② 久保さんは、何を教えるのが教育だと考えていますか。

【解答】 おかしいと思うことには縮こまらずに声を上げる」と

③ 筆者の考えに対して、あなたはどうか考えますか。200字程度で書きましょう。

Grid for writing answers to questions 1, 2, and 3.

1面のコラム「斜面」を読もう

斜面

2021.9.6

学校は何のためにあるのか。教育とは何か。子を持つ親の一人として胸が震える思いで読んだ。大阪市の小学校

長、久保敬さんが松井一郎市長に宛てた提言だ。学校現場を抑えつける教育行政のあり方に正面から疑問をぶつけている◆一つは、全国一斉の学力テストや市独自の学力経年調査だ。学校は毎年、点数を上げるよう求められる。それがどれほどむなしいか。子どもたちが「学び」に向かうためにどのような支援をすればいいかは、毎日、一緒に学習していればわかる話である◆何のためなのかかわからない仕事に追われて疲弊していくのでなく、子どもたちに直接かわる仕事がしたいのだと久保さんは書く。数値では見えない子どもの反応を肌で感じたい。1点2点を追い求めるのではなく、子どもたちと今という時間を共に過ごしたいのだと◆コロナが再拡大した4月、小中学校をオンライン授業に切り替えると松井市長が唐突に打ち出したことが提言のきっかけだ。現場の意見を聞かずに決め、保護者や子どもたちに大きな負担がかかったと批判した久保さんを市教委は先月、文書訓告にしている◆方向性が合わないなら組織を去るべきだと松井市長は述べた。それでも久保さんはひるんでいない。おかしいと思うことには縮こまらずに声を上げる。それを教えるのが教育だと考えている。政治権力による介入や統制を阻むために現場の力を立て直さなければとあらためて思わされる。

斜面

2021.9.7

「調和の取れた不協和音」。東京パラリンピック閉会式のテーマは直訳すると少々難解に聞こえる。多様性を認め合う社会を作り上げようというメッセージだろう。ダンスパフォーマンスなど盛り上げて、とても華やかな式典だった◆国際パラリンピック委員会(IPC)のパ

ーソンズ会長が紹介した選手言葉が心に響いた。「障害のある人が受け入れられるために、並外れたことをしなくてもいいはず」。その通り。社会の理解を得るために障害者が頑張りすぎるなんて、おかしい◆「がんばらない」という書を思い出す。98年長野大会の際に催した「アートパラリンピック」で世に出た。知的障害のある人の創作の場得上田市の西沢美枝さんが描いた作品。本紙も閉会式を伝えた紙面で紹介した。困難に直面する人の心を和らげ、努力信奉の価値観も揺らした◆IPCもトップアスリートが競い合う大会を超えて、活動の幅を大きく広げようとしている。東京大会を機に世界の15%に当たる12億人の障害者に目を向け、差別的解消や生活の改善を訴えるという。障害者を隔てている壁を一人一人が壊す時が来た◆限界に挑む姿に感動した。それだけなら、他のスポーツと変わらない。障害者であること。あるいは性的少数者、少数民族、女性であること。故に立ちほだかる理不尽な多くの壁を直視せねば。撤去は、つくって省みもしない多数の側が負う責任だ。当事者は殊更にがんばらなくていい。

1面のコラム「斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2021. 9. 7

「ちょうわのとれ たふきょうわおん」。とうきょうパラリンピックへいかいしきのテーマはちよくやくするとしょうしゅうなんかいにきこえる。たようせいをみとめあうしゃかいつくりあげようというメッセー ジだろう。ダンスパフォーマンスなどでもりあげて、とてもはなやかなしきてん だった◆こくさいパラリンピックいいんかい(IPC)のパーソンズかいちょうが しょうかいしたせんしゅの ことばがこころにひびいた。 「しょうがいのあるひとが うけいられるために、な みはずれたことをしなくて もいいはず」。そのとおり。 しゃかいのりかいをえるた めにしょうがいしゃががんばりすぎるなんて、おかし い◆「がんばらない」とい うしよをおもいだす。98ね んながのたいかいのさいに もよおした「アートパラリ ンピック」でよにでた。ち てきしょうがいのあるひと のそうさくのばでうえだし の西沢美枝さんがかいたさ くひん。本紙もへいかいし

きをつたえたしめんでしよ うかいした。こんなんにちよ くめんするひとのこころを やわらげ、どりよくしんぽ うのかちかんもゆらした◆ IPCもトップアスリート がきそいあうたいかいをこ えて、かつどうのはばをお おきくひろげようとしてい る。とうきょうたいかいを きにせかいの15%にあたる 12おくにんのしょうがいしゃ にめをおけ、さべつのかい しょうやせいかつのかいぜ んをうったえるという。しよ うがいしゃをへだてている かべをひとりひとりがこわ すときがきたと◆げんかい にいどおすがたにかんどう した。それだけなら、ほ かのスポーツとかわらない。 しょうがいしゃであること。 あるいはせいてきしょうす うしゃ、しょうすうみんぞ く、じよせいであること。 ゆえにたちはだかるりふじ んなおおのかべをちよく しせねば。てっきよは、つ くってかえりみもしいた すうのがわがおうせきにな だ。とうじしゃはことさら にかんばらなくていい。

コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

斜面

2021.9.6

学校は何のためにあるのか。教育とは何か。子を持つ親の一人として胸が震える思いで読んだ。大阪市の小学校

長、久保敬さんが松井一郎市長に宛てた提言だ。学校現場を抑えつける教育行政のあり方に正面から疑問をぶつけている◆一つは、全国一斉の学力テストや市独自の学力経年調査だ。学校は毎年、点数を上げるよう求められる。それがどれほどむなしいか。〈子どもたちが「学び」に向かうためにどのような支援をすればいいかは、毎日、一緒に学習していればわかる話である〉◆何のためなのかかわからない仕事に追われて疲弊していくのでなく、〈子どもたちに直接かわかる仕事があった〉と久保さんは書く。数値では見えない子どもの反応を肌で感じたい。1点2点を追い求めるのではなく、子どもたちと〈今という時間を共に過ごしたいのだ〉と◆コロナが再拡大した4月、小中学校をオンライン授業に切り替えると松井市長が唐突に打ち出したことが提言のきっかけだ。現場の意見を聞かずに決め、保護者や子どもたちに大きな負担がかかったと批判した久保さんを市教委は先月、文書訓告にしている◆方向性が合わないなら組織を去るべきだと松井市長は述べた。それでも久保さんはひるんでいない。おかしいと思うことには縮こまらずに声を上げる。それを教えるのが教育だと考えている。政治権力による介入や統制を阻むために現場の力を立て直さなければとあらためて思わされる。

① コラム「斜面」を読んで、筆者が言いたいことを簡潔に書きましよう。

② 【意見提示】 「斜面」の内容に対するあなたの意見を書きましよう。

③ 【展開】 あなたの意見の根拠を三つ書きましよう。

Three large dashed boxes for student responses.

() () ()

伝えたい順番